

11月園だより

- <教育目標> ・元気に遊ぶ子ども
・豊かに感じる子ども
・考え工夫する子ども

2020. 10. 30 文京区立本駒込幼稚園



実りの秋に

副園長 山下 美幸

1学期には緑色で小さかった柿の実も、大きく、オレンジ色に色付き、秋の訪れを感じる季節となりました。今年度最初の大きな行事である運動会は、保護者の皆様のご協力のもと、無事に実施することができました。台風の影響から、1日延期し、保護者の皆様にもご不便をおかけしました。感染予防へのご協力もいただき、本当にありがとうございました。

実りの秋は、子どもたちの姿にも現れています。運動会を経験したこの時期は、どの学年にも大きな成長が感じられます。年長すみれ組は、運動会では競技の他に司会にも取り組み、一人一人がマイクを使わず大きな声で自信をもって行っていました。先日は、廊下で誕生会の司会を互いに見合いながら練習していたグループがありました。「今のは言葉がばらばらだった」「お辞儀のタイミングがそろうといいね」や「声が大きくてよかったから、999点！」などと互いにアドバイスや認め合う言葉を掛けていました。年中さくら組は、リレーやリズムの練習に取り組む年長組の姿を見て、憧れの気持ちをもち、翌週から自分たちの遊びに取り入れています。自分たちでリレーのバトンを手作りし、園庭のトラックを友達と一緒に走ることを楽しんでいました。鉄棒や雲梯にも繰り返し取り組むなど、難しそうなことにもできるようにになりたい思いをもち、頑張ろうとする気持ちが芽生えてきました。年少ちゅうりっぷ組も、やってみたいという好奇心をもち、自分なりにできることの嬉しさを感じるようになっています。園庭の木製遊具を上り下りすることを繰り返しながら、できるようになったことを喜んでいます。また、拾ってきたドングリを使ってマラカスを作るなど、秋の自然を取り入れて遊んでいます。

先日、4歳児、5歳児は、六義園遠足に行きました。六義園では、プロ・ナチュラリストの佐々木洋先生に、園内を散策しながら、この時期ならではの様々な自然についてたくさん話を伺うことができました。子どもたちは佐々木先生の話に目を輝かせながら聞き入っていました。

この時期は、ご家庭でも、近隣の公園を散策しながら、秋の自然に触れ、発見を喜んだり、親子で体を動かして遊ぶ楽しさを共有したりするいい季節だと思います。感染症予防に努めながら、これからやってくる冬の季節に備え、生活リズムを見直し、免疫力を高め、元気に過ごせるようにしたいですね。寒暖差の激しい時期ですが、大人も子どもも体調に気を付けて過ごしていきましょう。



♪ドングリマラカス楽しいな♪



六義園遠足～プロ・ナチュラリストの佐々木先生と一緒に

